

# News Letter VOL.2

神戸市保育士・保育所支援センター

2020年12月13日 日曜日

## テーマ **自信**を持って保育現場で働ける**自分**をつくろう

時間	内容
9:45～ 10:00	<b>【感染症予防対策】</b> ・非接触体温計にて検温・手指消毒・換気 ・問診票・フェイスシールド
10:00～ 13:00	<b>事前保育研修（3回シリーズ：第2回）</b> <b>《発達障害の子どもとともにある保育》</b> ・関西国際大学 松本 恵美子講師 ■発達障害児の育ち ■乳児期・幼児期 ■ASDとの付き合い方のポイント他 ※問題行動にばかり目を向けない ※問題行動が起きた時の適応行動を教える ※出来る行動を増やしていく ■質問コーナー
13:00～ 13:15	<b>【神戸市の取組み：6つのいいね】</b> ・資料をもとに支援センターより説明

シリーズ2回目は、昨年度の受講者アンケートから1番受けてみたい「障害」をテーマに、関西国際大学の松本恵美子講師を招き「**発達障害の子どもとともにある保育**」研修を開催しました。発達障害があるという視点を持った時の対応方法として「いけないことをしたら叱る」ではなく「どうしたらよかったかを教える」また「暴言を吐いたら注意する」ではなく暴言を吐くのは一種のパニック状態になっているためイライラしないよう「気分を鎮める方法を教える」など、先生の経験が裏付けされた具体的な事例に、受講者は発達障害への深い理解を学ぶとともに、日々の保育の積み重ねがどんなに大切であるかも強く感じる研修となりました。



### 【受講者からのアンケートより】

- 具体的な例も説明してくださり、保育士の責任の大きさ、これからやっていくべき関わり方がよくわかりました。専門的な知識を身につけて少しでも自信を持って関われるようになりたいと思います。
- 発達障害についてだけでなく普段から職員間で話し合ったり報告連絡相談をする大切さを再認識しました。



次回は2月7日(日)開催予定

自信を持って保育現場で働ける自分をつくるために必要なことや実践方法等について学ぶオンライン研修になっています。問合せはセンターまで。